



舟山付近より御嶽山、乗鞍岳、北アルプスを望む

舟山付近より御嶽山、乗鞍岳、北アルプスを望む。分水源の宮、分水嶺の宮、峠を境に飛騨川(太平洋側)と宮川(日本海側)の水源流域にある約三、三〇〇鈔の国有林を管轄しています。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官!しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

【飛騨 飛騨森林管理署 宮森林事務所】

首席森林官

野口 和幸

宮森林事務所は、岐阜県高山市の南部に位置し、宮担当区(旧宮村)と久々野担当区(旧久々野町)に所在



朝陽を浴びる大イチイ

また、宮中学校生徒による登山の「無数河の谷」といわれています。

当管内には、位山、川上岳、舟山を合わせて位山三山と呼ばれている山があります。川上岳は、神通川の源流で富山湾に豊かな水を供給しています。伝説によれば、昔、位山には、男神が住み、川上岳、舟山には女神が住み、二人の女神は、位山の男神に心をひかれ競争していました。男神は困って、「名月の夜、位山に月がかかることを合図に出発し、位山に先に着いた方を妻にしよう」と女神にいいました。川上岳の女神が先に着いたことで位山の妻になり、二つの山の間についた街道が今の「鍋づる尾根」、一方、舟山との間には大きな溝を造って往き来を絶ちました。その溝が今の「無数河の谷」といわれています。



歩道整備の様子

当森林事務所の職員は、森林官一名体制で、生産・造林請負事業の監督、各種調査や境界巡視など隣接事務所と連携して進めています。

もあり地元からも好まれる場所です。登山道の入り口にある「宮の大イチイ」は、高山市の天然記念物に指定されており、推定樹齢二千年、樹高二十五メートル、胸高直径二・二メートルの巨木です。幹の一部は腐朽・空洞化していますが、地元有志・高山市一之宮支所等による保護活動が行われており、今なお、青葉を旺盛に茂らせています。訪れる人が安全に見学できるよう今年度、社会貢献活動の一環で名古屋林業土木協会久々野高山支部によりベンチや歩道など整備していただきました。



植付の活着調査をする筆者

これから寒暖差や気象条件も厳しくなることから無事故・無災害で業務を遂行していきたいと思えます。

■未来の担い手へのメッセージ

私は、パソコンは、もちろんワープロ専門機も無かった時代の採用ですが、今は、パソコン、ドローン、スマホまで導入されており、地図なども電子化されており、電子機器の扱いは、若い人は得意かと思えます。

このような電子機器を使用して効率的に事務を進めることも必要ですが、電子機器に頼らないで紙の地図や自分の感覚で目的地に行きつける能力も身につけてほしいと思います。